

2013 年日本切手発行状況

2013年、わが国の切手発行はとうとう、ついに、ここまで来たかという感である。発行件数 51、発行種類数 432、購入必要金額 31886 円と、種類数が 400 を超え、購入金額が 3 万円を超え、カリブ海の国々の仲間入りは勿論、その先頭を走っているのではないかと危惧される状況である。

2013年発行の基本的な数的状況をまとめたのが表 1 である。発行件数はふるさと切手が最も乱発された 2001 年に次いで 51 件と多くなっており、種類数は最多の 432 種類と昨年より一挙に 42 種類も多く発行されている。金

表 1 2013 年切手発行状況

	発行状況		金額別種類数			発行内容・分類					
						グリーティング切手		シリーズ切手		その他の切手	
	発行件数	発行種類数	50 円	80 円	その他	発行件数	発行種類数	発行件数	発行種類数	発行件数	発行種類数
ふるさと	18	116	30	86				16	106	2	10
特殊切手	32	307	60	248	4	8	130	16	140	8	42
年賀切手	1	4	1	1	2					1	4
総計	51	432	91	335	6	8	130	32	246	11	56

であり、切手発行内容の偏りとともに、問題を感じさせる。シリーズ切手は 12 月末現在で 16 種類も発行されている。これに世界遺産シリーズ(日本)が待機しているので 17 種類のシリーズが発行を待っていることになる。各シリーズが年に 1 回だけの発行であれば 246 種という数にはならないが、年 1 回七夕にみられるものと思われた星座までが 12 月の寒空にみられるようになってしまったのは仕方がないであろう。ふるさと切手のシリーズ切手の年間発行回数の多いのが目立つ。地方自治法施行 60 周年記念シリーズは 8 回、季節の花シリーズ 4 回も発行されている。

額別は 50 円切手 20%、80 円切手 80% で変化は見られない。2013 年で一番気になるのはシリーズ切手の増加である。発行件数、種類数とも 50% 以上になっている。年賀切手、記念切手、切手趣味週間、国際文通週間切手等をその他としてその割合をグラフにしたのが図 1, 2

対して、グリーティング切手は発行回数は 8 回と四季に 2 回の発行に留まっているが、1 回の発行種類が 10 種以上と季節毎に 25 種以上発行されている。また、グリーティング切手の大部分がシール切手であり、シート単位での販売であることを考慮すると気軽に手紙に貼れる

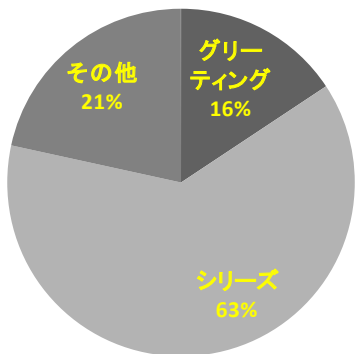


図 1 内容別発行件数割合

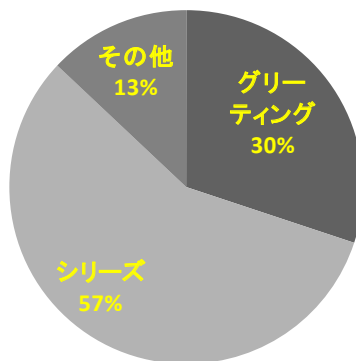


図 2 内容別発行種類数割合

ふみの日の切手、干支切手は発行目的、内容からグリーティング切手と分類した。毎年発行の切手趣味、国際文通、年賀切手と記念切手(国体、国土緑化、救急業務 50 周年、消防団 120 年、野口英世賞、更生保護 50 周年、スペイン交流 400 周年、日本ケニア 50 周年)を加えてその他と分類した。

切手ではなく、無駄に引出しに隠れてしまうことを期待されている感じがする。グリーティング切手もシリーズ切手と同じく郵便事業の赤字軽減のために発行されていくことを危惧する。気軽に希望の1種1枚を求めてグリーティングカードに貼れるグリーティング切手が発行されることを期待したい。なお、シール切手は135種発行されたが、そのうちの105種がグリーティング切手であった。

その他に分類した切手を整理したのが表2である。11件発行されているものを整理すると、他の年と同じく発行される定期発行とでもいべきものが5件(国土緑化、国体、国際文通、趣味週間、年賀)で、2013年だけ、独自のものは6件だけであった。このうち野口英世アフリカ賞は今後シリーズ的な発行になるであろうかと考えると、我々の世代の考える記念切手はわずか5件28種類の発行、10%に満たない発行である。その発行目的、内容、種類数もなんとなく解せないものである。

今後、記念切手という言葉が聞かれることが少なくなるのであろうか、さびしい限りである。ユネスコ世界記憶遺産、山本作兵衛氏の炭坑の記録画など素晴らしい切手になると考えるし、

表2 グリーティング切手、シリーズ切手以外の切手

名称	発行目的	種数	種類	備考
2013年国土緑化植樹祭記念		10	ふるさと	毎年発行 記念?
第68回国民体育大会記念		5	ふるさと	毎年発行 記念
2013年国際文通週間		4	特殊切手	毎年発行 啓蒙宣伝
2013年切手趣味週間		10	年賀切手	毎年発行 啓蒙宣伝
平成26年用年賀		4	特殊切手	準グリーティング
第2回野口英世アフリカ賞		2	特殊切手	2年連続して発行
日ケニア外交関係樹立50周年		10	特殊切手	
日本スペイン交流400周年		10	特殊切手	
救急業務法制化50周年		2	特殊切手	
消防団120年		2	特殊切手	
更生保護女性連盟50周年		2	特殊切手	

去にいくつか発行されてきた国際年にちなむ切手の発行なども考慮したらどうであろう。例えば、最近4、5年をみると国際森林年、世界化学年、アフリカ系の人々のための国際年、世界獣医年、国際協同組合年、すべての人のための持続可能エネルギーの国際年等があり、2013年は国際水協力年、国際キヌア年であった。他国では発行されており、それを考えるともっと視野を広げて特殊切手の役割、使命を考えて発行してほしい。

次に、印刷方式は例年と変わりなく、表3のようにオフセット、グラビアで約半数づつ印刷されており、今年も凹版印刷はみられなかった。

表3 印刷方式別発行件数、発行種類

	オフセット		グラビア		グラビア + 凸版		総計	
	件数	種類	件数	種類	件数	種類	件数	種類
総計	28	262	22	168	1	2	51	432

表4 印刷方式別発行件数、発行種類

	Cartor Security Printing		国立印刷局		凸版印刷		総計	
	件数	種類	件数	種類	件数	種類	件数	種類
オフセット	13	112			15	150	18	262
グラビア			19	138	3	30	32	166
グラビア + 凸版			1	2			1	2
総計	13	112	20	140	18	180	51	432

印刷方式に変わりはなかったが印刷機関に大きな変化がみられた。表4に示す如く2009年から印刷種類数一番を占めてきたフランス

Cartor社が凸版印刷社に次いで2番目になったことである。時期的に為替相場の影響とは考えにくいだが、ともかく国産切手が盛り返しを見せている。更に、凸版印刷社の印刷方式に注目するものがみられた。それはグラビア目打切手の印刷である。2013年国土緑化植樹祭記念切手10種である。2009年から、ふるさ



凸版印刷株式会社製造
平成25年5月24日

凸版印刷社のグラビア目打ち切手 植樹祭



凸版印刷社のオフセット目打ち切手 世界遺産

と切手のオフセット印刷目打ち切手、グラビア印刷シール切手は印刷していた凸版印刷社であったが、今年はこのグラビア目打ち切手に加えて、オフセット目打ち切手のシリーズ切手、記念切手を初めて印刷していることも注目された。

その中で12月に発行される記念切手の下記の切手表記に目がとまった。「日ケニア外交関係樹立」の表記である。なぜ、「日本ケニア」

日ケニア外交関係樹立 50 周年切手シート上半部分 (凸版印刷株式会社)



表5 外交、国交関係等に関する切手の表記

切手上的発行内容表記	表記の異なり			
	自国表記	外国表記	周年記念	特記
日印交流年	日	漢字		
日韓国交正常化 20 年記念	日	漢字	周年無	
日韓国交正常化 30 周年記念	日	漢字	表記	
日豪交流年	日	漢字		
日中国交 10 年記念	日	漢字	周年無	
日中国交正常化 20 年記念	日	漢字	周年無	
日中国交正常化 30 周年記念	日	漢字	表記	
日中平和友好条約締結 10 周年記念	日	漢字	表記	締結
日中平和友好条約 30 周年記念	日	漢字	表記	
日独交流 150 周年	日	漢字	記念無	
日米安全保障条約改定 50 周年	日	漢字	記念無	改定
日米交流 150 周年記念	日	漢字	表記	
日米修好通商百年	日	漢字	無	
日墨修好通商条約署名 100 周年記念	日	漢字	表記	署名
日蘭交流 400 周年記念	日	漢字	表記	
日ケニア外交関係樹立 50 周年	日	カナ	記念無	樹立
日タイ修好宣言調印 100 年記念	日	カナ	周年無	宣言調印
日本アルゼンチン修好 100 周年記念	日本	カナ	表記	
日本オーストリア交流年	日本	カナ		
日本スペイン交流 400 周年	日本	カナ	記念無	
日本チリ修好 100 周年記念	日本	カナ	表記	
日本ハンガリー交流年	日本	カナ		
日本ブラジル交流年	日本	カナ		
日本ブラジル修好 100 周年記念	日本	カナ	表記	
日本・インド国交樹立 50 周年記念	日本・	カナ	表記	樹立
日本・ギリシャ修好 100 周年記念	日本・	カナ	表記	
日本・スリランカ国交樹立 50 周年記念	日本・	カナ	表記	
日本・トルコ修好 100 周年記念	日本・	カナ	表記	
日本・パキスタン国交 50 周年記念	日本・	カナ	表記	
日本・バングラデシュ国交樹立 30 周年記念	日本・	カナ	表記	樹立

と表記されないのか疑問を持った。そこで外交に関連する事項等を記念する切手の表記内容を整理してみたのが表5である。約25カ国が対象となっていたが意外な国、イギリス、ドイツ、イタリアといった国との外交関連の切手が発行されていないことに気がついた。主要国でないからというわけではないが、なんでと思わざる得ない国も25の国の中にはあり、国策が反映

しているであろう。

発行内容表記についてみると、関東郵連 81号で西村会員が指摘した切手名自体の疑問点以外に、国の表現が「日」、「日本」、「日・」の三表現、相手国は漢字、カタカナ表現と非常に表現が大変豊かに出来ることが判った。「日」表示は相手国は漢字表示がほとんどであるのに、今回のケニアはどういう理由か"タイ"に次いでカタカナで表示、「日本」表示にはすべてカタカナ表示がされている。なぜ、"日本ケニア"としなかったのか、どうも外務省表現が縛っている様である。外務省のHPからの印象であるが、それが"日墨"という、切手以外で目にしたら、わが会員でも即、国を答えられる方は少ない表現にも影響しているのであろうか。時初めて風景だけのデザインで発行された2種の国体切手



スカイツリー、小笠原諸島の自然をPRする効果は抜群だが？タブを切り離したらとても国体切手に分類するのは難しい、いわんや、競技種目を連想は出来ない。



国際文通初の70円切手 白須賀 現 静岡県湖西市
今年で35宿に泊まり 残りは18宿

間が許せば詳しく調べてみたい事項である。更に、周年記念の表現はなんらかのきまりがあるようにはとても思えないのである。

最後に、気になった事項をいくつか触れたい。国民体育大会切手のデザインに新たに風景だけの切手が加わった。各種競技、競技場、マスコットに新たに開催地の風景が加わった。スポーツ切手として分類に苦慮してしまいそうである。

また、15年ぶりに70円切手が発行された。しかも、国際文通週間切手を3種から4種に増やしての発行である。はがき航空便料金、今後も発行が続けられるのであろうか。

最後に、写真のカット、トリミングの作品になってしまったかと思われる切手に独自の味わいを求めるのは夢であろうか。

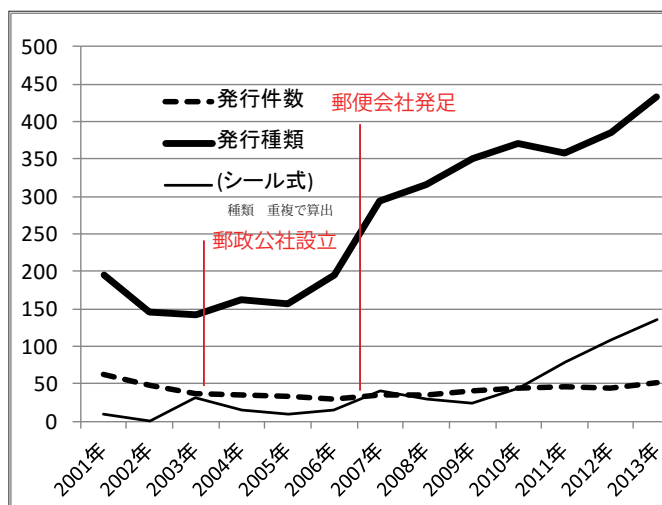
例年、年賀状に忙しく切手の発行が少ない12月に5件、35種類も切手が発行された2013年、気に入った切手だけを求める姿勢がますます必要になってきた。消費税増税が郵便料金に上乗せされる2014年、新たな普通切手の発行、もしや、金額表示が消え、諸外国のように郵便物分類表示切手の出現があるか。この辺で切手発行の推移を整理してふり返っておくことも必要であろうかと、次ページから過去13年の切手の発行をグラフに整理してみました。今後の切手収集の参考になれば幸いである。

参考文献

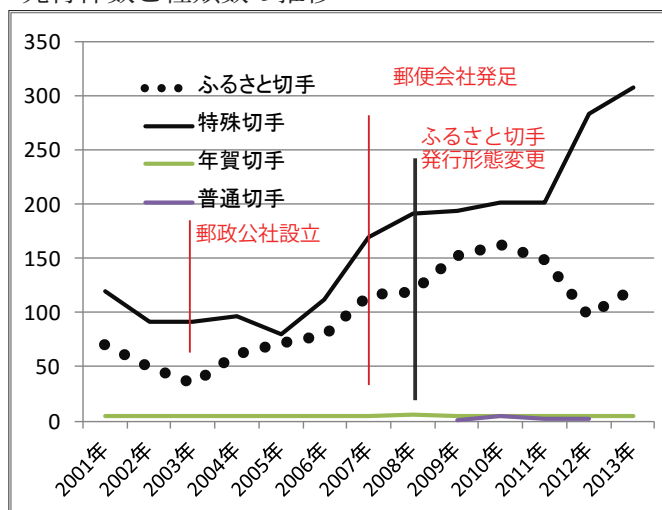
西村壽一郎 不可解な「切手名」のつけかた

関東郵連 81号 2013.4.20

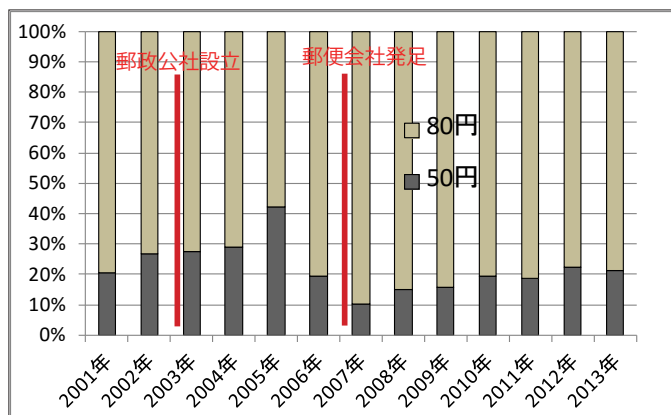
2001年からの切手発行の推移



発行件数と種類数の推移



切手分類別発行種類数推移

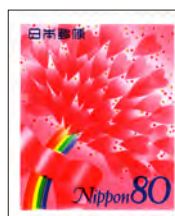


50、80円切手別特殊切手種類数割合

発行件数はあまり増加はないのに発行種類数は公社、郵便会社と民営化が進行するに従って著しく増加しており、1件当たりの発行種類数が2001年は3.1種類だったのが徐々に6.5に増加し2007年郵便会社になってから8種類を超えて確実に多くなってきていることがわかる。

2010年以降のシール切手の増加が目立つがグリーティング切手にとどまらずシリーズ切手にも多く発行されてきていることを示している。2003年突出は郵便公社設立時に発行された動物キャラクター12種の普通切手発行のためである。今後、シール切手の発行は増えることは使用の利便性ということからは望ましいことであるので、バラ売りのシール切手の発行に郵便会社が踏み切れるかどうか、シール切手への評価を左右するポイントになってくるであろう。

2008年以降郵便会社が一括企画発行するようになってそれまでの乱れ咲きのようなであったふるさと切手は少なくなった印象



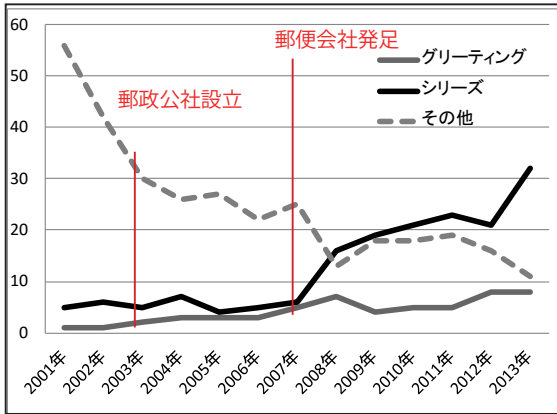
1995年
最初のシール切手



2003年
郵政公社設立時発行
シール普通切手

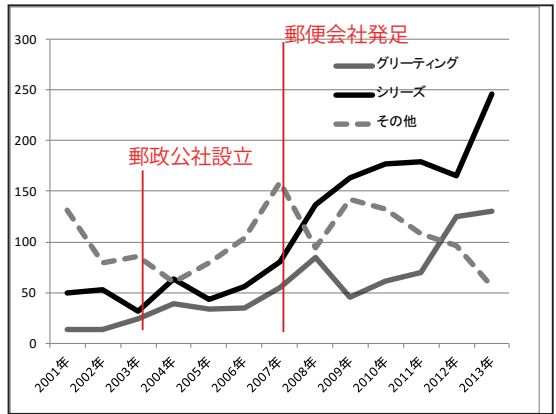
をもつが実はそうでもないことがうかがえる。2008年までのふるさと切手934種を整理してみるとなんと花を扱った切手が約370種もあり、それに加えて四国八十八ヶ所の文化遺産切手90種も加わってふるさと切手のイメージを悪くしていることが考えられた。これらの切手をのぞいて切手を並べてみると各地方の文化遺産、郷土芸能、建造物など特殊切手では取り上げられないものが多くみられ、ふるさと切手の意味を感じさせるものがある。この点を踏まえてシリーズ切手だけになってしまったような現在のふるさと切手を再考してみる必要もあろう。

額面別の割合も郵便会社発足以降変化が見られるようである。50円切手の割合が低くなってきている。利用者のニーズによってであればよいが、絵手紙愛好者の声からそうとは思えない。2005年の50円切手の突出はふるさと切手に50円花切手が通常は半分程度発行されるのが60%も咲き乱れたことによる。



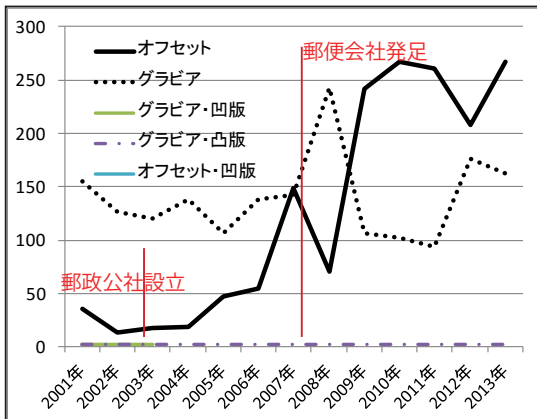
切手発行内容別にみた発行件数

発行内容は大きな変化がみられる。件数でシリーズ切手、種類数でグリーティング切手の増加が著しい。この数的な問題もさることながら、質的面により問題があるのではと考える。切手に描かれた内容である。グリーティング切手の大半が児童向けのキャラクターが描かれていること、シリーズ切手に海外の事項、動物が組まれたことである。



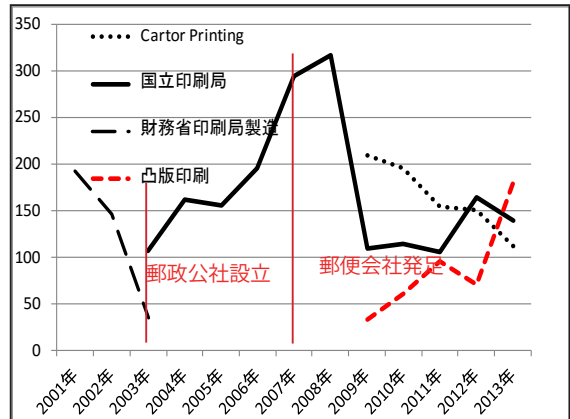
切手発行内容別発行種類数

グリーティング切手の目的は季節に合った切手、手紙内容にあった切手、相手に相応しい切手等を使用できるようにするということであろう。現実には程遠い切手になってはいないか。また、もっと切手に描かれるべき日本文化、自然を検討したシリーズを考えてほしいものである。



印刷方式別にみた発行種類数

印刷はオフセット、グラビアが大半で徐々にオフセットが主流になっていくことがうかがえる。また凹版は前の2つの印刷を補足に使用されてるにすぎなかったが、せめて年に数種は使用される



印刷機関別にみた発行種類数

ことを期待したい。印刷機関は郵便会社設立が民間会社で印刷される引き金になっていることは明らかである。今後、2社以外で印刷されるか注目したい。下記に、現在発行シリーズ切手と今年の発行状況を一覧に整理した。(編集子)

表 2013年現在発行中シリーズ切手一覧

通称	2013年発行
アニメ・ヒーローヒロインシリーズ	第20集
旅の風景シリーズ*	第18集
ふるさとの祭*	第10集
季節の花シリーズ*	第8集
星座シリーズ	第4集
伝統的工芸品シリーズ	第3集
日本の山岳シリーズ	第3集
自然との共生シリーズ	第3集

通称	2013年発行
浮世絵シリーズ	第2集
日本の城シリーズ	第1集
季節のおもいでシリーズ	第1集
鉄道シリーズ	第1集
ほっとする動物シリーズ	第1集
海外の世界遺産シリーズ	第1集
野菜とくだものシリーズ	第1集
地方自治法施行60周年記念シリーズ*	32県目発行

* ふるさと切手